

短命県返上へ 取り組み強化

県健康寿命推進
会議で意見交換

県民の健康づくり運動の推進などを旨とした対策を協議する「県健康寿命アップ推進会議」(会長・三村申吾知事)が19日、青森市内で開かれた。「短命県返上」に向けて地域や職域での健康増進について、より一層の取り組みを進めることを確認した。

三村知事は「県民の健康づくりの機運は高まっている。健康長寿の実現は人口減少対策にもつながる。全真的

な健康運動を進めていきたい」とあいさつした。

弘前大学大学院医学研究科社会医学講座の中路重之教授は講演の中で、学校や職場で健康づくりをけん引する人材育成の重要性を指摘した上で、健やか力推進センターを活用しながら「根を張った県民の健康意識を広げていくことが必要」と述べた。

また北星交通と鯉ヶ沢町役場の担当者が、従業員や町民の健康増進に向けた取り組み事例を紹介したほか、推進会議の委員が意見交換した。(下山静香)



県民の健康増進を目指し取り組みの強化を確認した推進会議